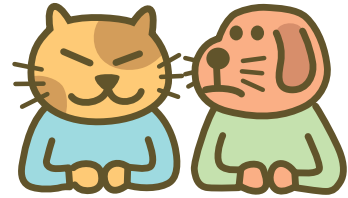




## 話の素材 (学習資料)



イヌ：やあネコさん、お久しぶり。

ネコ：(少し元気がない様子)

イヌ：ネコさん、なんか元気がないみたいだけど、どうしたの？

ネコ：イヌさんはいいよね～。三日飼ったら主人のことを忘れないほど恩深くて、芸も覚えて賢いってみんなから言われてるもんね。それに比べてネコなんか、気まぐれで飼い主のことを裏切るとか、見かけは穏やかでも内心は違うと思われたり、あげくのはては死んだらばけて出るなんて思われたりして、いいことなんて全然ないもんね。

イヌ：確かにそんなことを言われることもあるけど、全部のイヌがそうだとは思わないよ。それよりネコさんは、高い所から落ちてても足から落ちてけがをしないんですよ。

ネコ：そんなふうに使われているところもあるみたいだけど、でもそれで高い所から落とされてひどい目に遭った友だちもいるんだよ。

イヌ：イヌだ、ネコだということで、みんな一緒に見られてしまっているところがあるよね。

ネコ：ほんと、ほんと。全く迷惑な話だよ。みんな一緒に見るんじゃなくて、もっと、一匹一匹のことをちゃんと見てほしいよね。

イヌ：同感だね。ところで、ネコさんの血液型は何型？

ネコ：そんなこと、見たら分かるでしょ。

イヌ：どれどれ。分かった、B型でしょ。

ネコ：ちがう、ちがう。真面目で、慎重に行動するA型よ。

イヌ：え～。ネコさんがA型？マイペースで計画性がないB型かと思ったよ。

ネコ：そりゃあひどいね～。そういうイヌさんは何型？

イヌ：見たら分かるでしょ。

ネコ：う～ん。分かった、O型でしょ。

イヌ：ちがう、ちがう。器用で、多趣味なAB型よ。

ネコ：うそー。細かいことを気にせず、負けず嫌いなイヌさんは、てっきりO型かと思ったよ。

イヌ：なんか笑っちゃうよね。やれA型だの、B型だのと血液型でみんな同じ性格みたいに見られるところがあるけど、他にもそんなことってあるのかなあ。

イヌ、ネコ：どうですか？みなさんには、私たちと同じような経験はありませんか？





## 学習のポイント

一人一人の個性が尊重される社会をつくっていくことが、誰もが幸せに暮らせることにつながります。メディアやインターネットの普及により、たくさんの情報があふれています。私たちは、あらゆる物の情報を五感で感じ取って脳に取り込み、それを過去の記憶や体験を通じて勝手に自分に都合よく、概念化・観念化していきます。このような中で、情報や人を通して得た話、うわさを鵜呑みにし、偏った見方をしていることはないでしょうか。「無知は偏見を生み、偏見は差別を生む」とも言われています。**先入観や思い込みによって、人をひとくりに判断するのではなく、その「人」自身を理解し、認め合うことの大切さを感じてほしいと思います。**ここでは、イヌとネコの会話を通して、**参加者が持っている固定観念に気づき、固定観念による人権の侵害や、どうして固定的な見方をするようになったのかを考えます。**また、固定観念→偏見→差別という意識から行動化へ向かう心の仕組みについて理解します。



## すすめ方 【90分】

**準備物** 模造紙(グループ1枚)、マジック

1. 4～6人のグループをつくります。
2. 「話の素材」を配り読みます。(イヌ、ネコ役各1人)  
※話の素材は、**資料2**を代用してもかまいません。
3. 「固定的な見方」や「決めつけ」をキーワードに、自分のエピソードを思い出し、グループで話し合います。(悲しい思いをしたり、させたりしたこと)  
※なかなか思い出せない人のために **資料1**を準備します。(掲示)

「あの人は・・・だから」とか、「・・・はきっとあのんだ」とか「固定的な見方」や「決めつけ」で判断してしまったり、判断されたことはないか思い出してみましょう。

4. 「固定的な見方」や「決めつけ」がどうしてよくないのか話し合ってみましょう。また、なぜ「～だ」と決め付けて、信用してしまうのかについても話し合ってみましょう。
5. 「固定的な見方」や「決めつけ」により、悲しい思いやいやな思いをしないために家庭やPTAでできることを話し合ってみましょう。
6. グループで話し合ったことを発表して聴きあいましょう。  
※ **資料3**をまとめとして使うこともできます。
7. まとめとして、ファシリテーターが固定概念(ステレオタイプ)から偏見、差別につながる過程を説明して理解してもらいましょう。  
「A型は几帳面だ」→「A型は神経質で気難しい」→「A型の採用はやめよう」



## 資料

### 資料1 自分のエピソードを思い出すヒントになるもの

こんなことで、決め付けた見方をしていることはありませんか？

- 血液型で
- 出身県で
- 職業で
- 性別で
- 生年月日で
- 外国人で
- 子どもで
- 高齢者で
- 兄弟姉妹で
- 都会と田舎で
- 外見で
- 服装や持ち物で
- 親の職業や財産で

### 資料2 話の素材として代わりに使えるもの

- ① 高校を中退して工場で働いている青年の話
- ② 大卒、銀行勤務の青年と高校中退してフリーターをしている青年の話
- ③ エレキギターを想买い高校生の話
- ④ ブランドジーンズを大切にしている高校生の話

※「話の素材」は別途掲載

### 資料3 偏見と差別をなくすために

#### 決め付けの例

- 「〇〇県民は……だ」
- 「最近の〇〇は……だ」
- 「女のくせに……」
- 「男のくせに……」

#### 決め付けを見抜く

- マイナスイメージで一面的に見るのは間違い
- 「あの人は△△にちがいない」
- 「みんな〇〇だ」と決め付けない



## 資料2-① 高校を中退して工場で働いている青年の話



### 話の素材 (学習資料)



## 資料2-② 大卒、銀行勤務の青年と高校中退してフリーターをしている青年の話



### 話の素材 (学習資料)



〇〇さんのおぼっちゃん  
今年、大学卒業して  
銀行に就職したんですって♡♡

まあステキ!!  
将来たのしみなこと♡

最終学歴:〇〇大学経済学部卒  
職 業:□□銀行△△支店勤務  
趣 味:軽音楽、読書



それに比べてうちの子は!  
高校中退してから  
ずっとぶらぶらして…  
こんなことじゃ、ろくな  
人間になれないわ!

最終学歴:〇〇高校中退  
職 業:フリーター  
趣 味:プラモデルづくり



## 資料2-③ エレキギターを想买いたい高校生の話



### 話の素材 (学習資料)





資料2-④ ブランドジーンズを大切にしている高校生の話

話の素材 (学習資料)

